

みどり福祉ホーム通信

横浜市緑区十日市場町 808-3 ● Tel.045(984)7878

平成29年 謹賀新年



今回の祭りにあたり新しい作業製品も開発して、ポップコーンやお汁粉なども販売して多くの売り上げがありました。中でもこの日のために作った綺麗な織物がたくさん売れました。ぜひ、ホームにも買いに来てくださいね!!

会場内では家族会によるいい匂いの豚丼や、焼き鳥、カレーやスープなど沢山の物に何を食べて良いのか迷ってしまう様子でした。輪投げやヨーヨーなどもでて子どもの笑い声が良く聞こえました。

平成28年11月19日(土)にみどり福祉ホームが行われ、当 日は小雨の状況でしたが、会場に出店した地域の皆さんの熱気の中で大賑わいのお祭りとなりました。 当日は、はつぱオールスターの皆さんのダンスパフォーマンスに始まり、かわいいキッズダンスチアや本物の忍者による演武とその迫力!会場内の忍者屋敷での体験など盛りだくさんでした。地区センターとの共催でのイベントでは紙芝居や「プラネットリウム」「笑って歌つて地区センツア」の歌手コアラモードとお笑いの横浜ヨコハマなどが来て、プロの歌と笑いに圧倒されました。

極めつけはメインイベントのHIRO&AGの体操パフォーマンスのハイライトを飛び越える凄い技にみんなの大歓声が起き、そのダイナミックな動きで魅了しました。

「僕たちもうすぐ有名になります!お楽しみに~」とのことで期待しています!

最後は我がみどり福祉ホームのジョンレノン、伊東職員によるみんなで歌おうコンサートにより無事に閉会となりました。

今回も改めて、多くの方々が今回のお祭りに出店していただき、「協力していただく」とできることが出来ました。これまで、これからもみどり福祉ホームは地域の中で共に生きていく事を念頭に、人と人のつながりを大切にしていきます!!来年はもっと盛り上げて、そして晴れることを祈っています☆





今年度、ゆめグループの旅行はサファリパークに行ってきました!
ライオンの赤ちゃんを抱っこしたり、夜は美味しいデリバリーシェフの
料理を食べたり、花火をしました。



恐怖のカレー
指が～

ハロウィンNo.1

流しそーめん

夏！
すいかわり

電車～



芋ほり

にじ グループ

去年にじグループは
載せきらないほど活動しました。
今年はどんな年になるでしょう？

ホーム祭り



東京ディズニーランド
旅行





さくらんぼ会 です。

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町808-3 みどり福祉ホーム内 ☎ 045-984-9891
ホームページ sakuranbokai.jimdo.com/ 「さくらんぼ会」で検索

さくらんぼでは、活動の前
ソンをします。幼児クラスは
親子で、学童は子ども同士では
走ります。特に、幼児クラスでは
は、朝一番ですから、親子で
ウオーミングアップになります。
とても気持ちの良い一日のス
タートを切ることができます。
途中で、嫌になつてしまふ
ときもや、スピーチのコントなど
子どもの好きな子供たちです。
うまいからいい子などもいます。
どうやら、個々の性格が現れる
ところが、このクラスの特徴です。
たまに、お母さんと一緒に来ます。
お父さんと一緒に来ます。
お兄さんと一緒に来ます。
お姉さんと一緒に来ます。
おじいちゃんと一緒に来ます。
おばあちゃんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんと一緒に
来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお父さん
と一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお母さん
と一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお兄さん
と一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお姉さん
と一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお兄さん
お姉さんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお父さん
お母さんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお兄さん
お姉さんお父さんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお母さん
お兄さんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお母さん
お姉さんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお父さん
お母さんお兄さんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお母さん
お姉さんお兄さんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお父さん
お母さんお姉さんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお母さん
お父さんお兄さんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお母さん
お父さんお姉さんと一緒に来ます。
おじいちゃんおばあちゃんお父さん
お母さんお兄さんお姉さんと一緒に
来ます。

大会が横浜市で開催されました。当事者の参加者も多く見られ、自身の言葉で発言されました。多くの施設や作業所からの参加もありました。今年は明るいnewsがたくさん届く一年になればと願います。

今年のさくらんぼ会も、子ども達やヘルパーさんの笑顔を絶やすずに活動したいです。

新年明けましておめでとうございます。
昨年も、みどり福祉木一ム
の方々に、暖かく見守つてい
ただき、感謝申し上げます。
昨年は、神奈川県で悲しい
出来事が起きました。

の流れとともに多様に変化していく。関わる側の思いも、時代多様化していくようを感じます。さくらんぼ会は、今も昔も時代錯誤と時代先取りの狭間で子供Firstの精神でいきたいと思います。



ようになつていきます。それと同時期に、生活面で変化が見られ、お母さんとのやり取りにも笑顔が見られるようになります。表情も豊かになり、喜怒哀楽を表現する力も見えてくるようになります。訓練室での体操や、リトミック、課題別の学習でも、様々な表情を見ます。

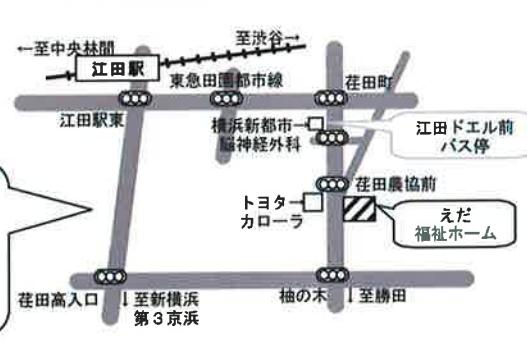


さくらんぼ会では、体験保育を実施しています。子育ての中でも見学可能ですので、お持ちのお母様たち、ぜひ遊びにきてください。また、子育てを応援してくださるヘルパーさんも、ご連絡お待ちしています。

★ みどり福祉ホーム 045-984-0801



★ えだ福祉ホーム 045-911-6968



みんないっしょなら ちよたのしい！みどり！

12月の3日から9日は障害者週間です。

緑区では、「緑区学齢障害児の余暇を考える会」という会がありました。みどり福祉ホームも、もつと地域に開かれた活動を展開したいと考えたとき、会に参加させてもらいました。気づいたことは、仕事として障害のある方に関わる以外に、地域にはたくさん様々な形で障害のあるお子さんを支え、親御さんに寄り添う方たちがいたということです。余暇だけに関わる問題というものは大抵なく、色々な困り感が複雑に絡み合い、余暇という切り口からその困り感の一端が鮮やかにみえてくるものなんだということです。

「緑区学齢障害児の余暇を考える会」は、より多くの参加者を迎え、現在、「みどり障がい児者支援ネットワーク」として活動しています。

「みんないっしょならもつとたのしい！み・ど・り！」は「みどり障がい児者支援ネットワーク」が仕掛けた障害者週間啓発イベント第1弾です。

私たちは「みんなの学校」という映画の上映会を行いました。

上映会は金曜日の昼と夜2回行われ、赤ちゃんから人生の先輩の方々、障害のある方々と彼らの「家族、遠くから来る人や、もちろん緑区の人たち、まさに「みんなの映画会」とでもいえるものになりました。



「みんなの学校」に関する少しいい話。緑区に住む小さなお子さんのお母さんが、「みんなの学校」を観ました。この映画を、「」で、みんなと一緒に観てみたい。胸を打ち考えさせられる切実な映画だったからです。彼女は、なにから始めればいいかわからなくて、電話をしたそうです。「どうしたらいいでしょう？」

電話を受けた緑区社会福祉協議会は、「みどり障がい児者支援ネットワーク」の一員でもあり、私たちに話を持ちかけてくれました。困り感を感じている子供を積極的に受け入れ、先生も生徒も地域もみんなで支えるという学校と、そんな学校にしたいという校長先生の強い意志に関するこの映画は、「みどり障がい児者支援ネットワーク」の活動の趣旨にぴったりだとみんなが思いました。上映まで、様々なことがありました。その都度、「どうしたらいい？」と確認しながらゆっくり着実に進んでいきました。誰一人放り投げる人はいなかつたし、あきらめる人もいませんでした。

やっと芽生えた、「みんないっしょならもつとたのしい！み・ど・り！」をどのように根付かせていくかは、私たちのこれから働きにかかりています。「どうしたらいい？」と立ち止まり立ち止まり考え方ながら、みんなで少しづつ進んでいきました。この活動を通して、もっと多くの方々から、「どうしたらいい？」と話しかけられる日を目指していきます。

(荒木傑)

新採用ヘルパー紹介

運転ヘルパー
和田 隆士口さんに
質問しよう



Q. 好きな(得意な1曲)は?

少年時代

Q. 特技(必殺ワザ)は?

知らんぷり

Q. 誰に似てるって言われますか?

トム・ハンクス



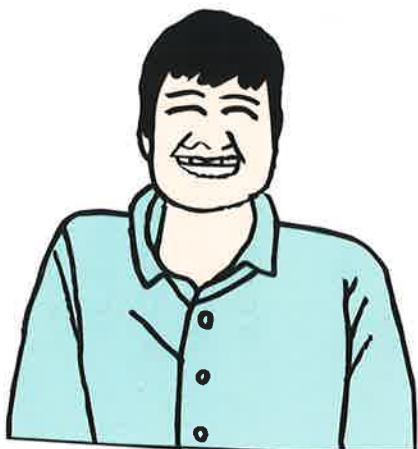
Q. みどり福祉ホームの素敵なところは?

みなさん、元気なこと

Q. みどり福祉ホームの変なところは?

まだ、気がつきません

よろしくお願ひいたします!



ホームページ
<http://www.nishiura-web.com>

お体のお悩みがある方、相談されたらいかがでしょうか。

西浦様は中山でマッサージ治療院を開いています。

西浦様より活動に使ってほしいと寄付をいただきました。ありがとうございます。

いたしました



寄付を

津久井やまゆり園の 事件について、 あるいは編集後記

ノマ・ヨウヤマユリイー福社ホーム

所長 サニー木 伸介

下品といふことについて考へことがあります。私は、なぜかはわからぬけれど、自分は下品ではないと思い込んでいました。人前で

おならもするし、時には下ネタも言つてしまふかもしけないけど(セクハラにならぬよう細心の注意を払つてゐるつもりですが)、下品であつてはならない。大きな町の知事だつたり、巨大な国の大統領になるであろう人の発言に痛快な気分になることはなく、自分はケチなくせお金の話題からは距離をおこうとし、自己中心的なくせ自身の権利について声高に言うことをためらつてしまい、身近にいる人たちが露悪的な言動をするのをみて一緒に笑つてすますことができませんでした。私は今までたいてい、その場を無表情なまま立ち去つてきました。

私は大人で、仕事をしてて、家庭があつて、感じていることは、下品なことの力というものは強く、したたかで、割と愛されていていけるのではといふことです。

言うまでもないことですが、障害のある方たちは、その寿命を全うするまで、生きなければなりません。私たち障害福祉に関わり働く者たちの仕事は、そのことを支えることです。ただ生きるのではなく、クオリティーオブライフ(命の質)も担保されなければなりません。みどり福祉ホームの理念にある通り、「地域の中で自分らしく生きる」でなければならぬのです。当たり前過ぎて日常の中で声高に叫ぶほどのこともないと思っていたのかもしれません。正論過ぎて異論なんて無視して構わないと。

津久井やまゆり園の事件が起きて、私は途方に暮れてしまいました。口にするのと行うことの間には大きな違いがあることはわかつて

います。私は、職場でも私生活でも、正論を言い続けてきたつもりでした。しかし、私が見たり聞いたりした私にとっての下品なことに対する私はなにもしてこなかつたのではないか。しかも、犯人といわれている男は、もしかしたら、私が雇用の面接に立ち会い、一緒に働き、ともに行なった達成感を喜び、時には意見の相違があつた男の一人なのかも知れない。

落ち込んでいた私を救つてくれたのは、人手が足りなく久し振りに応援に入つた、日中活動の現場で、昔から一緒に過ごしてきた障害のある青年が描いてくれた絵でした。右に彼の大好きな仮面ライダー何某が描かれていて、左に私の全身を描いてくれた絵でした。絵の中の私は黒くも白くもない真ピンクの髪をそばだてていました。勇気が湧いてくる絵でした。

私の好きな映画の中の登場人物が、「道に転がる石にもなにかしら意味があるんだよ、もちろん君にもね。」と言いました。明石家さんまは「生きてるだけで丸儲け」と言つています。私は、私は、みどり福祉ホームで私が働く意味をずっとずっとと考え続けたいし、みどり福祉ホームに関わってくれている障害のある方たちと話したり、表情を覗いてみたり、彼らの変化や、変わらないでいてくれることを見続けてることが大好きです。

今回はいつもより少し遅れて発行することになつた「みどり福祉ホーム通信」も、みどり福祉ホームの声高でないかもしえない意思表示の一つです。障害のある方たちの横浜の片隅で確かに存在している豊かな日々の証しなのです。

私は、正論をぶつぶつ唱える」とに安住することなく、障害のある方と家族の安全と安心のために、職員と一緒に働いていきます。大げさに言えば、生きていきます。